

神奈川県「ENEOSの森」で社員ボランティアが森林保全活動を実施

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、2月11日(土)、神奈川県丹沢にある「やどりき水源内」の神奈川「ENEOSの森※」にて、社員および家族が森林保全のボランティア活動を実施しましたので、お知らせいたします。

神奈川県「ENEOSの森」は、当社が神奈川県と「水源林パートナー」の契約を締結し、2004年12月から2009年11月までの5年間にわたり「かながわ水源の森林(もり)づくり」事業に参加して活動するエリアの名称です。

今回は、当社取締役副社長の小林俊和、執行役員経理財務部長の一色誠一をはじめ、当社の京浜地区社員、家族等がボランティアとして参加し、天候にも恵まれて、さわやかな環境の中での森林保全作業に取組みました。

全員がヘルメット、枝打ち用のこぎりを装備し、大きな間伐用のこぎりや枝打ちはしご、ロープを持ち込んで、ボランティアとはいえ本格的な活動となりました。予想以上の大木や高所の枝打ち作業に、全員が時間を忘れて汗を流し、森林保全の一翼を担ったことの達成感を味わうとともに、森林保全の大変さと重要性を改めて体感できた一日でした。

ボランティア活動の概要

- 1.日時 2006年2月11日(土) 10:00~12:30
- 2.場所 やどりき水源林内「ENEOSの森」およびその周辺(神奈川県足柄上郡松田町(丹沢))
- 3.参加者 当社社員および家族40名
- 4.活動内容 (社)かながわ森林公社の森林インストラクターによる指導の下で、間伐(健全な森林とするため、不良木を中心に伐採し、樹木の密度を適正に保つ作業)、枝打ち(節のない樹木を育成し、森林に光を入れるために、一定の高さまでの枝を切り取る作業)を実施。

※「ENEOSの森」とは、地方自治体または、社団法人国土緑化推進機構とパートナーシップを結び、一定エリアの未整備な森林の保全を支援する活動です。当社社員を中心としたボランティアが、植樹、間伐、枝打ち作業などの森林保全活動を実施し、環境・自然保護活動を行ってまいります。「ENEOSの森」は、すでに、神奈川県、北海道、奈良県、岡山県の4カ所に開所済みで、当社グループの製油所所在地域を中心に6カ所まで増やす予定です。

以上



間伐した木の枝を扱う当社ボランティア(右端は小林副社長)